五一新聞

09.7. No.146
発行 市岡日出
責任
0883-88-5292

「きれい」だけじゃない

梅雨入して、ほとんど雨らしい雨が降らなかった祖谷地方ですが、六月末頃に久々に雨らしい雨が降りました。

ようやく水も多くなって人々はホッとしています。ホッとしているのは人だけでなく植物も一斉に緑が深くなりグーンと成長して、なんだか向い側の山が近くなったように見えました。

六月三十日にはヒグラシの鳴き声も今年はじめて耳にしました。季節は間違いなくめぐって来ているようですが、どこかが違ってるような出来ごともあります。

サル、イノシシ、シカの農作物への被害はここ数年増え続けています。天然記念物に指定されているニホンカモシカも日常的に見かけるようになりました。

先月には、県道が黒っぽいネコのような動物を見かけ、ネコとは違うなんと近ずけば、なんとニホンカモシカの赤ちゃんでした。

よく見ればヘソの緒がまだついてましたよ。行政の人と連絡をとり、コンクリート壁のない山へ逃がしましたが、驚きました。

詳しい人の話によりますと、「シカよりカモシカが増える方が、弱わる」とのことでしたが、このんどうなることでしょうか

白髭分岐方面

その二ホンカモシカが、いた山の上の方では、左のような状況の現象がおきています。これは、冬ではありません。木々が緑になっているのは落葉樹もあるのです。茶色っぽい所は、クマザサが一帯に見られた所です。

後方の尾根はうっすら緑になってるので、クマザサは枯死の傾向です。

原因は、知りません、温暖化なのかもわかりません。

—スイヅル草—

ツユトリソウ

8月の川遊び

（すぼっこ探し）

8月5日

毎年、祖谷川での川遊び。今年も、もうすぐです。

例年、土、日に計画していましたが様々な行事が重なりますので、平日に勝手に計画しましたが、よろしくお願い致します。

台風で増水されますと中止とします。また食料等は各自で持参下さい。子供たちには、ライフジャケットを用意します。

（場所）東祖谷（祖谷川）今年梅雨周辺 入り 満点

・ぶくんこ

作り出した人間が

原因の一つを作り出した人間がどうするのか対策を考え、行動を起こさなければ、増々広がっていくのではないでしょうか。

植林をしても手入れのしない山が残され、荒れている山。耳納をした後、裸地化した山、農業が衰退し、放棄した田畑。

このままでは、水源地の田舎がなくなってしまいそうです。

誰が、どうするのでしょうか。

考えごとと、気力も失せていく。

ツユトリソウ